

今回のASSETSは「ポピュリスト政党=右翼民族主義」への批判記事を載せています。右翼ポピュリストとは、「自分の国や地域さえ良ければ他国のことなどお構いなしという方針で愚かで従順な国民を煽動するような行動をとる政党」であり、戦前のヒトラー支配下のドイツやムッソリーニのイタリアそして日本の戦前の軍国主義者である東条英機や安倍晋三の祖父に当たる岸信介たちがその中に入るでしょう。ドナルド・トランプに象徴されるアメリカ合衆国のポピュリストが、民主主義を破壊しつつあることに危機を感じているNEWSWEEK誌が、今回特集を組みました。下掲のようにNEWSWEEKも安倍晋三夫妻がポピュリストであると捉えています。また大阪維新の会=日本維新の会もポピュリスト政党であるという評論家はとても多いです。ちなみに、日本にもきちんとした「まともな右翼思想家」もいます。今回はあなた達には難しい内容なので、何も読まなくてもかまいません。ただ「民主主義を守る」という気持ちは忘れないでください。そして世界中の人たちやその文化を自分や自分たちの国や文化と同じように尊敬しようという気持ちがある限り、あなたは右翼ポピュリストではありません。



【下】冬の渡り鳥が飛び立てば、庭には春の小鳥たちがやってきます。「メジロ」は羽の色もきれいですが、実は「歌」がとても上手です。耳をそばだてて、メジロの鳴き声を聞いてみませんか？先生の家や畑に遊びに来ています。ついでにムクドリやフクロウだけではなく、イノシシやシカやアライグマまで畑には遊びに来ています。(笑)。畑を荒らしまわりますので、このあたりでももう農業はできないのです。



【上】【下】アメリカ合衆国の週刊誌であるNEWSWEEKは、安倍前総理や菅現総理を民主主義にとって危険な右翼ポピュリストとしてとらえています。そのことは安倍夫妻が応援していた「森友学園の教育方針」や「日本学術会議への菅総理の対応」などでわかっていただけたと思います。



「北帰行(ほっきこう)」という言葉覚えてください。日本で越冬した渡り鳥たちが、北のシベリアへ帰ることをさします。



現代が学べる 志 成 館

